

環境問題を考える会 設立25周年記念 第25回総会および記念講演のご案内

- ◎月日 2022年7月24日(日)
- ◎時刻 午後1:15開場/1:30開会(総会)
- ◎場所 下野市市民活動センター 研修室3

25年の歩みを
振り返ります

記念講演(午後2時~)

—ごみは燃やさず、埋めず、減らすもの!—

裏面の地図
を参照下さい

「改めてごみ問題の本質と課題を考える」

今年2月、宇都宮市の主力ごみ焼却施設で大規模火災事故が発生し、宇都宮市はごみ焼却能力の7割を喪失するという非常事態になりました。同市は緊急処置として市民に燃やすごみの排出半減を要請しましたが、市民に対応できるはずがなく、同市は県内外の公共・民間施設にごみ焼却を分散委託して凌いでいます。一方、小山市・下野市・野木町のごみ回収処理を行う小山広域保健衛生組合では、燃やすごみが増加傾向から横ばいで推移し、このままでは組合の焼却能力を超えてしまうとして、2027年までに5,000tの削減目標を設定しました。その方策として有料ごみ袋制の導入を計画していますが、そもそも資源物が正しく分別されず燃やすごみに混入している実態や、プラスチック資源循環法の施行も課題です。

今年は環境問題を考える会が発足して25年の節目の年です。そこで、25周年記念として会の原点に立ち返り、記念講演には改めてごみ問題を取り上げることとし、設立当時からご指導いただいた熊本一規先生に講師をお願いしました。常に市民の立場で全国の環境保全活動をサポートしてこられた熊本先生に、ごみ問題の本質や課題について分かりやすく解説していただきます。この機会に改めてごみ問題を考えてみませんか。是非ご参加下さい。

◎講師：熊本一規(くまもとかずき)さん

- ・東京大学工学部都市工学科卒、同大学院終了(工学博士)
- ・明治学院大学国際学部教授を経て現在、同大学名誉教授
- ・ごみ/リサイクル問題で市民側から政策批判を行うと共に、ダム・原発・都市政策等で住民のサポートを続けている。
- ・「日本の循環型社会づくりはどこが間違っているのか」(合同出版)「脱原発の経済学」(緑風出版)など著書多数



◎後援：しもつけ環境市民会議

◎参加費：無料(カンパ大歓迎)、どなたでも参加できます。

(お問い合わせ)

☎0285-44-6891 益子 / ☎0285-44-6621 磯辺 / ☎0285-44-9233 平戸

E-mail : kankyomk@ja2.so-net.ne.jp

Homepage : <https://kankyomk.wordpress.com>

下野市市民活動センター アクセスマップ

